

1・疲れた夜の！　あまあまラブラブいちゃいちゃえっち

1の1 帰宅してすぐの、ラブラブ授乳手マン

とある夜。七時ごろ。

主人公、仕事を終え、よろよろのフラフラで帰宅してくる。

肉体的にというよりも、精神的にかなり疲弊している。正直今すぐトワに甘えたい。

SE1.. マンション廊下の環境音

SE2.. 主人公が自宅の扉を開錠する音

SE3.. 主人公が自宅の扉を開けて、閉める音

〈主人公〉

「ただいま……」

SE4.. 【かなりスピードを上げて加工して、5秒分ほど繰り返し流す】トワの足音

主人公が家に入るなり、トワが飛びついてくる。

トワ、まだ部屋着に着替えていない。お出かけ着にエプロン姿。

主人公を待ちながら夕飯の支度をしていたようだが、着替えていないあたり、なんだか用

意周到である。

服はワンピース。すぐに脱げそう。

SE5.. トワが主人公に抱きつく音

●少し遠くから近づいてくる【「り」のあたりから左側】

「お・か・え・り・な！　さい♥」

〈主人公〉

「ただいま！　トワちゃん！」

SE6.. 主人公がトワと抱き合う音

主人公、トワの顔を見ただけでなんだか元気になる。

抱きしめられて、トワの匂いをすんすんかいでいるだけでエネルギーが回復してきて『丈夫、いける……』という気持ちになつてくる。

対するトワは目ざとい。

主人公が明るく振る舞おうとしているが、実際はへろへろなのをすでに理解している。トワ、いったん主人公に向き直る。

●中央 向かい合うイメージ

「待つてましたよお♥」

【まくしたてるように甘く早口で】

早速ですけどえつちします？ それともえつちします？ あ、やつぱりえつちします？

【返答を待たず『するよね！』という感じで】

イエス！ しましよう！」

〈主人公〉

「いやいや、トワちゃん、わたしは……」

主人公、嬉しいが、なんだか申し訳ない。

一日頑張って、疲れているのはトワも同じだからである。

●中央 【主人公のセリフを想定して、ワントーンポ置いて。コミカルに、甘く諭す】

素直になつて、いいのですよ？」

〈主人公〉

「……うう！ ……したいです……！」

だが主人公、こう言われるともうだめ。

トワとの同棲生活で、すっかりえつち大好きなのがバレてしまつた。というか、そななるように育てられた感がある。

●中央

【『オーケー』で】

OK♥

わかつてたんですよ♥

今日はきっとボロボロ。ヨボヨボの状態で帰つてくるだろうと！

トワ、そのつもりで待つてましたからね♥」

SE7：トワがエプロンのポケットからスマホを出す音

〈主人公〉

「はう。もしや……」

●中央

「はい。こちらご覧下さい♥」

トワ、スマホを取り出し、謎のアプリに記録された主人公の健康状態を見せる。主人公、気づくとすっかり体調管理までされている。

SE8：【2回分繰り返して『ピ、ピ』と鳴らす】トワがスマホを操作する音

●中央

「アナタのお仕事の大変さを示したグラフが、青。

アナタの体調を示したグラフが、赤♥

【『ううん』と『今日』で一呼吸置く】

ううん。今日、見事につらさのピークが重なっていますねえ。

【少し間を置く。主人公がグラフを見て『あ、客観的に見て休まないとダメだわこれ』と理解させる時間を与える】

これはもう、休むしかありませんね♥

リケジョのトワには。全部お見通しなんですよ♥

●少し遠ざかる　主人公の手を引っ張って、寝室に連れて行こうとする
観念したら、はい♥　お布団、お布団♥

●中央【至近距離】

【少し間を置いて。『うあれ』という感じで】
うあれ　泣いてます』「

トワ、主人公が泣いているので、びっくりする。

普段からして涙もらいの人だが、まさかまだ何もしてないのに泣くとは思わなかつた。

対する主人公、トワの優しさが嬉しくてたまらない。

主人公はモテず、恋人と過ごした経験があまりないままアラサーまで年を取つた。なので、愛されること、尽くされることに慣れてない。疲れた身体に愛情が染みて、涙が出てしまう。

〈主人公〉

「……」、「ごめんね……。嬉しくて……。

トワちゃん、こんなにわたしのこと考えてくれてるんだなあって思つたら……、な、涙が
出できちゃつてえ……。

トワちゃん、ありがとう。こんなにしてもらえるなんて嬉しいよ……。

本当はね。今日結構辛かったの。

だからえつちしたいです。トワちゃんにめちゃめちゃにされたいです……！」

トワ、主人公が律儀に『えつちしたい』と復唱するので、トワ『これが日頃のえつちの賜物……』『すっかり調教してしまった……』と少し思う。

トワ、本当は人並みにモテるのに、なぜかいつもそれに気づかずスルーし、結果強い孤独感を抱えたまま大人になってしまった主人公が、可愛くてたまらない。特に自信なさげに丸まつた背中と、しゅんとした伏し目がいい。

『正直食べちゃいたいです♥』と思つている。

●中央【至近距離】

【相槌を打つ】

わあお……。

【声が少し真面目になる】

そうですか。今日はそんなにつらいことがあつたんですねえ。

【優しい声で】

大丈夫ですよ♥ これからトワがたっぷり♥ その疲れを取つてあげますから♥
それい。

●右耳にささやく【至近距離】

泣くのはお布団の上で。ですよ♥

トワ、主人公の手を引いて、寝室へ連れて行く。

SE9：【繰り返して、合計5秒分ほど流す。二人分重ねない】トワと主人公の足音

SE10：トワが寝室の扉を開ける音

SE11：トワが寝室の扉を閉じる音

SE12：【（）からトラック終わりまで小さく流れ続ける】部屋の環境音

●中央【少し離れている】

「はい、とーちやく♥

【可愛くて仕方ない、という感じで】

ああ。また目、うるうるしちやつてる。

●中央【少し離れている】
【額に軽くキスする】
ちゅ♥」

〈主人公〉

「トワちやーん！」

主人公、とうとう耐えかねてトワに抱きつく。

トワ、それをしつかりと受け止める。主人公よりもトワの方が、背が高い。

SE13..主人公がトワに抱きつく音
SE14..トワが主人公を撫でる音

●中央

【おお】は気持ち声高めに】

おお。よし、よし♥

ふふ。可愛い甘えんばさんですね♥』

〈主人公〉

「弱くて『めんねえ……。弱くてすぐ泣くダメな人で『めんねえ……』」

●中央

「うん、うん。弱くていいじやありませんか。

【ひときわ優しく】

トワは！ 優しくてよわよわな。アナタが大好きですよ♥

【瞼に軽くキスする】

ちゅ♥

●中央【至近距離】

【主人公の泣き顔を見ていたら、どんどんいやらしい気分になつてくる】

可愛い。

そんな顔で見られちゃつたら。

トワ、何でもしてあげたくなつちやいます♥』

トワ、主人公のあごを軽く持ち上げてキスする。

●中央【至近距離】

【唇に軽くキスする】

ちゅ♥

【可愛い】の『かわい』。本音が漏れる感じで】

かわい……。

【ゆっくり舌を入れて、30秒ほどディープキスする】

ん……♥ ちゅっ♥ くちゅっ……れろり……。ちゅるるり……ちゅぱつ。

【唇を離してすぐ、もう一回軽くキスする】

ちゅ♥

【少し照れて】

あは……。何だかトワも、すうへくえつちな気分になつてきちゃいました】

トワ、主人公を抱きしめて、優しく主人公の背中を撫でる。

SE15 .. トワが主人公の背中を撫でる音

●中央

【額に軽くキスする】

ちゅ♥

いい子、いい子。

今日はたくさん頑張りましたから。少しお休みしましようね】

トワ、一度主人公から離れると、ベッドの上に座る。

SE16 .. 【繰り返して合計3秒分ほど流す】トワの足音

SE17 .. 【0—5秒ほどまで流す】トワがベッドに腰掛ける音

SE18 .. 【0—2秒ほどまでの『ぽん、ぽん、ぽん』までを流す】トワがベッドをぽん、ぽん、と叩く音

●少し遠くから

「ほら。おいで♥」

〈主人公〉

「……!!」

SE19 .. 主人公がベッドに飛び込む音

SE20 .. 【繰り返して2回分流す】主人公がトワに「そーそと抱きつく音

主人公、トワの胸に勢いよく飛び込む。完全に甘えモードに入っている。

トワ、それが思つたより激しいので驚く。

聞くところによると、主人公は交際経験が少なく、現在の、心から好きだと思った人と交際できている生活が信じられないらしい。

トワ『それはトワもだいたい同じって言うか、主人公以外にお付き合いた人は当然ゼロですが』と思いつつ、そんな主人公に、自分のできることは何でもしてあげたいと感じる。

主人公、トワの胸にしがみつく。

トワ、そんな主人公の頭を撫でる。

〈主人公〉

「……トワちゃん、好きい……。大好き……。えっちしたい……えっちしたいです！」

SE21：トワが主人公の頭を撫でる音

●中央、やや上

「うん、うん。

アナタは頑張つてますよ。偉い子です。

いっぱい頑張つて疲れましたよね？

おっぱいちゅつちゅしておまんこすりすりして、いっぱい気持ちよくなりましょ♥

〈主人公〉

「……うんつ……。

トワちゃん……おっぱい欲しい……おっぱい飲ませて……」

トワ、今の自分の身体は、人間として暮らしていくための、いわばアバターのようなもの。だから『トワのおっぱいニセペイなのに、そこわかつていてこんなに欲しがるなんて、ほんとこの人可愛いです』と思う。

主人公のことを、好きなだけ甘えさせてあげたいと感じる。

SE22：【0—5秒ほどまで流し、その後セリフと重ねて流す】主人公がトワの胸に顔をうずめようとする、『そーそー』そという音

【くすぐつたくて笑ってしまう】

●中央、やや上

ふふ！

「こらあ。そんなに早くおっぱい飲みたいですう？」

毎日飲んでるくせにい

【ひときわ甘つたるく】

本当に！ えっち大好きさんなんですからあ

♥

本当に！ えっち大好きさんなんですからあ

♥

SE23 : [0—15秒ほどまで流し、音量は小さめに加工する。『勢いよく降ろす』という印象にならないように、ジッパーを降ろす部分は、本来の音よりゆっくりに加工する] トワがワンピースのジッパーをおろし、ワンピースを脱ぐ音

SE24 : トワのワンピースが、すとんとベッドの上に落ちる音

トワ、ワンピースのボタンを外して、背中のジッパーをおろす。すると、それだけで下着姿になる。外で着る時は透けないよう中にもう一枚着るのだが、今日は最初からこれが狙いなので着ていない。

トワ、胸が大きいので、ワンピースを脱ぐ時、胸のところだけ窮屈そうになり、少し脱ぎにくそうにする。

主人公、それを見て非常に興奮する。思わずトワの胸を凝視してしまう。

トワもそれがわかっているので、気分がいい。

トワ、自分の身体にはさほど興味がない。

『そもそもニセペイですし、サイズ自慢してもむなしくないですか？ むなしさの極みですよね～』と思つてている。

だが、主人公が気に入ってくれるのはとても嬉しい。主人公に對してだけは、いっぱい性的な目で見られたい。興奮してくる。

●中央

「ほら♥ 見て？ アナタ専用の、おっぱいです♥

早くブラの中、見たいでしょ？

【ひときわ甘つたるく】

ホツク。外してほしいな♥」

（主人公）

「……！」

主人公、トワの方を見て頷きつつも、顔を真っ赤にしている。

●中央【近づく】

【少し間を空けて。主人公が胸を凝視してゐるくせに、その手が震えているので】

えー? まだ緊張しますう? ふふ♥』

トワ、下着は主人公に脱がして欲しい派。特に、主人公の手でブラジャーを外されると『これからえっちしちゃうんですね……♥』と実感が湧いて、すごく興奮する。自分で脱ぐのはいけない。ダメゼッタイ派。今日も主人公の手を導いて、脱がしてもらおうとする。

●中央【至近距離】
【自分から誘つておいて、実はとてもドキドキしている】
あ……』

SE25:【小さめに】主人公が、トワのブラジャーのホックを外す音

●中央【至近距離】
【胸が直に空気に触れて、すごく興奮している】

ん♥

SE26:【0—1秒ほどの、1回目の『パサ』だけを流す】主人公が、トワのブラジャーの肩ひもを落として、ブラジャーが手前、トワの膝側に落ちる音

●中央

【いざ脱がされると、少し照れる】
えへ♥ 脱がされちゃいました……♥
おっぱい。見られちゃった♥

●中央【至近距離】

あ♥ 頭うめたいの? もお。やーらしい♥
どおぞ? よしよし。おっぱいですよー♥』

主人公、トワの胸にそーっと近づくと、中央から抱きついて、左乳首を口に含んで、無心で吸う。

最初はおとなしいが、次第に大胆になっていく。

トワ、それを受けとめようとして、だんだん身体がずれていいく。
繰り返しになるが、トワの身体はアバターのようなものである。そのため、正直なところ『本当の姿』でいる時よりも、感覚はかなり鈍い。

だから本来であればあまり感じないはずなのだが、主人公が、この胸が偽物だとわかつていて、それでも夢中で甘えてくるのが可愛くて、次第に感じ始める。

●中央

【最初に軽く噛まれて、びくつとする】

ん……。

【20秒くらい。吸われながら、ゆっくり呼吸し、吐息が漏れる程度。そこまで感じておらず、喘がない】

はあ……。はあ……ふう……。おいしい……?

【少し感じている。快感に耐えるように低めの声で】

あ……。

【20秒くらい。少し息が上がつてくる】

あ……。はあ……ああ……。

ふふ。夢中で吸ってますね……♥

トワのおっぱいは。アナタだけのものですから。どんな風にでもして、いいんですよ?

【また、少しだけ感じている】

あつ……。

ん……そう……。いい子、いい子♥

上手にちゅっちゅてきて、とっても偉い子です。※2個目

【『よ。こになつて』は『横になつて』。少し苦しそうに。今の姿勢がつらくなつてくる】

あ、そしたらあ♥ よ。こになつて。

お口で。ちゅぱちゅぱしながら。

こっちのお手手は。もう片っぽのおっぱいをもみゅもみゅ。しましようね。したかつたんでしょう♥ さつきからずつとさわさわしますもんね。もつと強く。しつかり触つていいんですよ♥

ほら。気持ちよくて、あつたかくて。安心。するでしょう?

●上 髪にキスする

ちゅ♥』

SE27：【0—8秒ほどまで流してセリフ。その後最後まで流す】主人公とトワがベッドに横になる音

主人公とトワ、ベッドに横になる。

主人公としては、右耳を上にしている状態。トワ、主人公の背中を優しく撫でる。

●やや右側

「んー? おつきいおっぱい好きい?」

トワも。アナタにもみもみされるの。好き♥

【10秒くらい。吸われながら、ゆっくり呼吸する。さつきよりも感じている】

……あ。はあ……はあ……はあ……。

すつごくいい子ですから、頭。なでなでしてあげますね♥【

トワ、主人公に乳首を吸わせているうち、自分がまるで主人公の母親になつたような気分になつてくる。そう思うと、胸が温かく、きゅーんとなる。

トワ、自分はこういう性格だし、母性などといったものはないと思つてている。

だが、主人公とこうしていると、なぜかふつふつと温かいものが湧く。

だから幸せなのだが、実際は母親ではないので、ずっと吸われていると感じてしまつて、だんだん余裕がなくなつてくるのも事実。

しかも、ここで主人公が、吸つていなの方、トワの右乳首をつまんでくる。

●中央

【ここで初めて喘ぐ。小さめの声で】

あつ……もう。手。やーらしいっ♥

【少し余裕がなくなつてくる】

そんなにこねこねされたらあ。トワの乳首。かちかちになつちゃいますよお……?

【小さめだが、非常に感じている声。痺れるような快感】

はつ……!

だめっ、たらあ♥

【声を我慢して、言葉とは裏腹に余裕があるふりをする】
あ。気持ちよすぎ……。

【乳首の真ん中部分をちろちろなめられて、びくっとする】
ちろちろって、しないでえ。お乳大好きの変態さんなんですからああんっ。……それ、だめですう……♥

【20秒くらい。快感に耐えるように、ゆっくり呼吸し、声が低くなる】
はあ……はあ……はあ……ふう……

SE28：【0—6秒ほどまで流す】主人公がもぞもぞ動く音

トワ、まずい。主人公を癒すつもりだったのに、このままだと自分が攻められちやうかも……。と思う。

しかしそこで、主人公が自分の胸に触りながら、腰をくねくねさせているのに気づく。

●中央

【優しく】

ん?」

トワ、手を伸ばして、主人公の服の上から股間をさする。

スカートの上から触っているのに、そこからでもなんとなくしつとりしている。

トワ、そうさせたのは自分なのに、ドキつとする。

『これは逆転のチャンスですね～!』と思う。

SE29:【0—2秒ほどまで流す。】トワが主人公の股間をさする音

●中央

「……あ♥、ここがむずむずしてきちゃつたんですね?
わかりますよお?」

さつきから♥ おっぱい飲みながらあ。

興奮して。ずっと腰もぞもぞして! ぱんつにクリちゃんすりすりしてたでしょ。

トワ、ちやあんとみてたんですよ♥

●右耳にささやく

【優しく、少し意地悪に】

おまんこいじりしてほしくなつちやつたの? そうなんでしょう?

●中央

『そうです』って、ちやあんと言えるかな?』

主人公、顔を真っ赤にして頷く。

〈主人公〉

「……そう、です……」

●右耳

「うふ。偉い子ですね♥」

トワ、主人公を仰向けにさせ、スカートはそのままで、下着だけ脱がそうとする。

●中央、上

「じやあ♥ 脱ぎ脱ぎしましようね♥

はい。足開いてえ?」

SE30：主人公が仰向けになる音

●中央、上

「あ♥ これ！ この前のお休みにトワが買ったパンツですね♥
いい子だから。ちゃんと履いてたんですね♥」

SE31：【0—2秒ほどまでの『くちゅ』1回分のみ】トワが主人公の股間に触る水音

●下

【興奮して】

あ♥ すご♥ とろとろだあ……。

●中央

トワのおっぱいちゅうちゅしてるだけで、こおんなになつちやつたの？
おっぱいの後はクリちゃんいたずらしてもらえると思つて♥
えつちなお汁で。
ぱんつぬるぬるにしちやつたの？

【優しく】

いいですよ♥ 隠さないで。

トワの前では。どれだけえつちになつてもいいんですよ。

トワのおっぱい飲みながら、おまんこ気持ちよくなりたいんですよね♥

主人公、両手で鼻まで覆いながら、恥ずかしそうに頷く。

トワ、それを見て、やつぱり主人公を攻めるの大好き！ 最高！ と感じる。
しかし、自分で言い出したものの、どういう姿勢をとればいいものか？ と少し悩む。
このまま一緒に横になつて、自分が手を伸ばして触るのがいいかな？ と考える。

SE32：【本来の音よりもかなりゆっくり加工しながら、セリフと重ねて、33が始まる

480まで流す】トワが主人公の股間に触る水音

●中央

【【じ】くつと喉を鳴らす】

「い」くつ。

【興奮して、少しからかうように】

わ♥ 熱う♥ ちょっととさすつただけで。

するんつておまんこの中に指が入つちやいそうです♥
可愛いなあ……トワとしたくてこんなになつちやうなんて♥ 本当に可愛いです。

【優しく】

ふふ。どうして欲しいですか？

安心していいんですよ。アナタの好きなえっち、みいんなしてあげます。

クリちゃんもおまんこも、アナタがいっぱいイッて満足して、おねむになっちゃうまで。

何回でも気持ちよくしてあげます。

●右耳にささやく

だから。いっぱい可愛い声、聞かせて下さいね♥

【甘くからかう】

あー♥ 今びくつてしたあ♥ 可愛い♥

●右耳【至近距離】

耳弱いですよね。知っています♥ じや、ハラハラおしゃべりしながら。くちゅくちゅ

しちゃお♥】

SE33：【34が始まる513まで、セリフと一緒に、繰り返し流す】トワが主人公の股間に触る水音

●やや右側

「ハラハラ

とんとろおまんこ」。

すりすりしてあげます♥

【ひときわ甘く】

ほら♥ クリちゃん。こんな風に♥
ちょっと圧迫されながら擦られるの。

好きですよね♥

わかつてますよ♥

毎日アナタのことイかせてあげてるんですから。

アナタのクリちゃんがどうしたら喜ぶかなんて。アナタよりわかつてるんです♥

【主人公が胸を触りたそうにしているので】

うん、いいですよ。

ふふ♥ おっぱい飲みながら、もみもみしながら。腰えっちにハーハーして♥

トワのお指にクリちゃんこすこすこすししましょ？

乳首ちゅうちゅうしながら、目一杯甘えんばさんになつて♥

クリイキしましようね♥

ふふ、かーわいい♥

【主人公が夢中で乳首を吸つてくるので】

んう……♥

あ……！ もう、えいちさんなんだからあ。

【※マークまで、いたって普通のトーンで話しているが、これが本心】

えく。……トワ、アナタのこと、もつとえっちにしたいです。

毎晩泣くまであんあんさせて、べたって寝ちゃうまで全身いたずらして。

トワなしじやいられない身体にしたい。※

【熱っぽく本音が漏れる】

大好きですよ……いっぱい気持ちよくなつて下さいね……♥』

トワ、主人公に奉仕するつもりだったのに、本音が漏れ始めていることに気づく。今日したいのは、あくまで主人公を癒すことなので、そーっと方向転換する。

SE34：【535まで、本来の音よりかなりゆっくり加工して、繰り返し流す。感じる場所に丹念に愛液を塗り込んで、ゆっくりさすつているイメージ】トワが主人公の股間に触る水音

●中央
「【♪♪♪】で方向転換する】

あ、そうだ♥ これも。好きですよね♥

いっぱいぬるぬるつけてえ。ゆっくりちゅ～ちゅ～するの♥

●右耳にささやく

いついつてもいいですよ。ぎゅーって支えてあげますから。

いつてぴくんぴくんしてて恥ずかしくてやらしい姿。トワに見せて下さいね♥

●右
【自分の指の動きに合わせながら言つている】

くちゅ、くちゅ♥ くちゅ、くちゅ♥ くちゅ、くちゅ♥

【主人公が感じて、すっかりとろけているので】

ふふ♥ おまんこ気持ちいいね♥

すりすりされて、クリちやん嬉しいね♥

【自分の指の動きに合わせながら言つている】

くちゅ、くちゅ♥ くちゅ、くちゅ♥ くちゅ、くちゅ♥

〈主人公〉

「……ト、トワちゃん……。わたし、もう……」

※ここからSE3-4の速度をやや早める。元の速度よりはゆっくりで

●右寄り

【少し気遣うように】

あ。そろそろイキそう?

いいよ。いく時は。トワの名前呼んでね♥

【少し間を空けてから。とても優しく】

うん。いいよ♥ 声聞かせて?

うん♥」

〈主人公〉

「ああああっ……！ トワちゃん、いくつ……♥」

●右寄り

【びくつとする主人公の身体を支えて、自分も声が漏れる】

あ♥ んつ……！」

SE35：【あまり激しく『ドサ！』と落ちた印象にならないように、ゆっくりめに加工する】主人公がベッドに力なく倒れる音

〈主人公〉

「はあ……はあ……はあ……。トワちゃん……トワちゃん……」

トワ、主人公がすっかり脱力しつつ、自分にしがみつこうとしてくるのがかわいい。とても優しい気分になる。

●中央

【20秒くらい。ゆっくり息を整える】

はあ……はあ……はあ……。ふふ♥

●中央

いい子、いい子。とっても可愛くイケましたね♥

上手にイけて。すうごく偉い子です♥

【唇に軽くキスする】

ちゅ♥ よし、よし

「

SE36：【0—3秒ほどまでの『ポンポン、ポンポン』のみを、3回繰り返す】トワが主人公の背中を撫でる音

●中央

【主人公を落ち着かせるように優しく】
ゆっくり呼吸して?
とんとんしましようね。

【とてもゆっくりと。自分が背中を叩く音に合わせて言つている】
とん、とん。とん、とん♥】

1の2 後ろから抱っこ、あまあまえっち

主人公、トワに優しく背中をとんとんされて、安心しきった表情になつていてる。

トワ、そんな主人公が可愛く、もっと色々したくなるが、このまま寝かせてあげた方がいいのかもと思うのも事実。

というか、ご飯はどうしよう? どうするべきか……。と、主人公の様子を見ている。

SE1: 部屋の環境音

●中央【少し遠い】

【優しく。主人公をいかせて、精神的に満足している】

汗、かいちやいましたね♥

【も】は、もう、の『も』。気遣つて】

も、くたくた? お休みしましようか?】

しかし、主人公、意外にもまだしたいらしい。

眠そうな目でトワに甘えてくる。

〈主人公〉

「眠いけど……トワちゃんともつとしたいよう……」

●中央【近づく】

【嬉しい】

くふ。まだしたいの?

【わざとゆつくり言う】

まだ気持ちいとこ、ちゅーちゅーされたいの? まだ腰もぞもぞ、止まらないんだあ?】

〈主人公〉

「うん……」

トワ、えっちにからかったつもりだったのに、主人公が素直に頷くので、逆にドキッとする。

トワ、普段自分はSつ気のあるように振舞つて、あたかも主人公を振り回しているようだが、実際は逆。

自分は主人公を喜ばせたくて必死なだけ。すべては主人公次第なのだと実感させられる。

●中央【近づく】

「わかりました♥

じゃあ。今度は♥ 後ろから。密着しながらしてあげます♥」

SE2..トワが起き上がる音

●中央【近づく】

「優しくあやすように】

後ろからぎゅーされてするの、好きでしょ?

【主人公が認めたので】

ふふ♥ そうですよね。

【主人公にも体を起こすように促す】

おつきして? よいしようと……♥』

SE3..[0—4秒ほどまで流して、以後はセリフと重ねる]主人公が起き上がる音

●中央【至近距離】

「そうだ♥ 汗もかいちやつたし。全部脱ぎ脱ぎしましちゃうね♥
はい♥ 万歳して下さい♥』

SE4..[0—5秒ほどまで流す]トワが主人公の服を脱がす音

●中央【至近距離】

「ふふ♥ おっぱい見せて下さいね。

【『あ』で気づいて、嬉しそうにする】

あ。ブラもちやあんと。トワの選んだのしてて、偉いです♥ ※2個目

でもお♥ とっちやお♥』

SE5..[0—1秒ほどまでの、最初の『プツ』だけを流す]トワが主人公のブラジャーのホックを外す音

〈主人公〉
「あ……！」

主人公、ブラジャーのホックを外されて、びくつと声を上げる。
トワ、そんな主人公の、処女のような反応がたまらない

後ろから、右側から顔を出す形で顔を寄せて、キスする。

●右寄り【至近距離】

【キスする】

ん……♥

恥ずかしがらなくていいんですよ♥ とっても綺麗なおっぱいなんですから。

●右【至近距離】

胸を触り始めて、右側から顔を出して話している

【興奮して。主人公の胸を持ち上げている】

はあ。ほんとえっちなおっぱいです。

【興奮して呼吸が荒くなる。やや早口に、独り言のようになる】

はあ……♥ 真っ白だし。

手に吸い付くみたいに柔らかいし。

はあ……はあ……。絶対誰にも触らせたくない。

ねえ♥ このおっぱいもみもみしていいの。トワだけですからねつ?

【主人公の胸を揉みしだきながら】

ああ……アナタのおっぱい。形も、おつきさも……先っぽの色も♥

すりぐる綺麗ですよ♥

【勃起していない乳首を、つんと指先で触れて】

まだちょっと先っぽ♥ ふにやつてしてますけど。

【乳首を勃起させたくて、いたずらし始める】

こうしていたずらしてあげたら♥ かちかちになるかなつ?」

トワ、主人公がリラックスタイプで弛緩していたあまり、乳首がすっかり落ちていてするのが面白くない。

乳首というのは、えっちなコミックで描かれているように、常に勃起しているようなものではない。……それはわかっているのだが、なんだか気に入らない。

〈主人公〉

「あ……！ だめえ……」

●中央【至近距離】

【ゆづくり、優しくからかう】

ダメじやないでしょっ♥

アナタも。さつきこうやって♥ トワにいたずらしたじやありませんか。

くづくづ♥ くづくづ♥ って♥ お返しです♥

【ゆづくづと】

「こりこり♥ こりこり♥ こりこり♥

【小さめの声だが嬉しそうに。勃起に気づいて。】

あ♥ 硬くなってきた♥

【わざと一つ一つ、説明するように言う】

アナタの乳首♥

おつきして、硬くなつて。

こりこりして来ましたね♥

【本当においしそうな食べ物を目にしたように】

おいしそう……」

トワ、主人公の乳首を口に含んで吸う。右から。

【20秒くらい。優しく、大きな音を立て過ぎないように】

はむ……ん……ちゅぱつ。ちゅるつ、くちゅつ。

【一度唇から離す。満足げに】

ふふ！

あ♥ ごめんなさい。

【主人公の左乳首をいじりながら】

こりちのおいぱいも。すぐにちゅうちゅうしてあげます♥

●左【少し遠ざかる】

【20秒くらい。さっきよりもいやらしく、少し音を故意に大きくする】

ちゅぱつ……ちゅるるつ……くちゅつ。

ふふ。

すつ、ごくえつちな顔♥ 甘々に蕩けてえ♥

すつ、ごく可愛いです♥

●左耳にささやく

大好き……。

●左【少し遠ざかる】

【20秒くらい。さらに少し音を故意に大きくする】

ちゅぱつ……くちゅるるつ……じゅるつ「

トワ、主人公が再び股間をもぞもぞさせてているのに気づく。

SE6：【本来の音よりもかなりゆっくりめに加工する】主人公が再び股間をもぞもぞさせている音

●左耳元

「あ♥ おまんこ淋しかったですね♥
わいきいいっぱい。」

といふところにほぐしたい。

そり、そろ。ずぼずぼされたいでしょ?」

SE7:【0—2秒ほどまでの、最初の『ゞそ……』のみ流す】トワが主人公の両足を開かせる音

●中央【至近距離】

【イッたから】をわざと少し意地悪に言う】

ほら見て♥ 一回イッたからあ。アナタのおまんこ。ますますといふなんです
見えるかな。

こいつの足。持つてあげたらわかるかな?

もつとおつきく開いて♥ おまんこ見せて♥

ほら♥ 今すつごくえっちな匂いしたでしょ♥

今アナタ。そのくらい濡れてるんです♥」

SE8:【0—2秒ほどまでの、最初の『くちゅ……』のみ流す】トワが主人公の股間に触る水音

●右耳元【至近距離】

「ちゅぱちゅぱしてほしい?」

【主人公が認めたので】

●右【至近距離】

はい♥ 素直でえ。

とっても偉い子です♥

ちゅぱちゅぱしようね♥」

SE9:【SE8と同じ音。3秒—6秒目の音が挿入のイメージ】7秒目から17秒までは、出し入れを繰り返しているイメージ。この7—17秒目までを194まで繰り返し流し続け、196から、速度を上げる】トワが主人公の股間に触る水音

●右【至近距離】

【かなり興奮して】

あは● ほんとにあつさり入っちやう!

【わざと普段は使わない『犯す』という言葉を使って、主人公をどきつとさせると】

この指にい● 犯され慣れてる証拠ですね●

えい●

トワの指があ。アナタのおまんこを出たり入ったりするとい●

見えますかあ?

その度いちいちきゅんきゅんに締め付けて。

えつちなおまんこですね●

こんなに強く咥えられて。トワ困っちやいます●

【切実な本音が漏れる】

……いくらでも満足させてあげますよ。

【おつとまざい、と、明るい声に戻る】

アナタが● トワの奥さんでいてくれる限り! ずーっと● ずーっとね●
だあいすき。ふふ

※ここからSE9の速度を速める

【30秒くらい。股間をいじるのに夢中で、吐息メイン。興奮して少し無口になる】

はあ。はあ。可愛い●

はあ。ほんとぬちよぬちよで、えつちです。はあ……はあ……。

【イキそうな主人公の様子に気づく】

んー?

【優しくゆっくりと】

もうイキそう? うん● わかりましたよお●

【右上】

【髪にキスする】

ちゅ●

〈主人公〉

「トワちゃん……! わたし、また……」

【右】

【至近距離】

【甘く】

いいよ● イツで●

〈主人公〉

「ああっ……！」

●右【至近距離】

【主人公が達したので、満足げに】
ん……♥』

〈主人公〉

「はあ、はあ、はあっ……」

●右【至近距離】

「ふふ、かーわいい♥　また上手にいけましたね♥
大丈夫。ゆっくり呼吸してえ?
ゆっくり♥　ゆっくり♥　落ち着きましょうね♥』

1の3 身体ふきふきのあとの、ピロートーク

主人公、二度もイツてぐつたりしている。

トワ『さすがにそろそろ休ませてあげましょ……』と、主人公の股間を拭き、寝かせる準備を始める。

SE1..【トラック終わりまで小さく流れ続ける】部屋の環境音

SE2..【0—5秒ほどまでの3回分のみ流す】トワがベッドをぽんぽんと叩く音

●中央【少し離れている】

【優しく】

足開いて?

二回もイツて♥ ぬるぬるのここ。

ちやあんと拭き拭きしましょうね♥

〈主人公〉

「うん……♥」

●中央【少し離れている】

【少し間を置いて。内心ドキッとしている。主人公があまりに従順に従うので、胸が切なくなる】

もお。そんなに素直に従つちやつて。

【小さめの声で、ひとりごとのよう】

トワにここまで全部許しちゃう人なんて、きいといの世でアナタくらいですよ?】

SE3..【かなり小さめに、ゆっくり加工して、3回ほど繰り返して流す。】
トワが主人公の股間を拭く音

●中央【少し離れている】

【明るいトーンに戻る】

はい♥ 綺麗になりました♥

じやあ。ちょっとお休みしましょっか】

SE4..【0—5秒ほどまで流して、それからセリフと同時に最後まで流す】トワが主人公を抱きしめる音

●右寄り

「よいしょ♥ 裸でぎゅっとしてると、安心しますね♥

【少し間を置いてから】

昔もね。よく『うしててくれたんですよ』

〈主人公〉

「昔つて……十三年前のこと？」

トワ、このまま主人公は眠つてしまふだらうと思い、寄り添つて昔話を始める。
トワとしては、いつ寝てもいいですよという気分なのだが、主人公は眠そうな顔で真剣に
聞いてくれる。

●右寄り

【明るく話しているが、声が次第に真面目な雰囲気になっていく】

そうです♥ 十三年前♥ アナタはうねうねモードのトワを抱いて。

裸でピタツとして寝てくれたんです。

トワが淋しくて寒くて、震えてるんだと思つて……。

ううん？ 言葉なんて通じてなかつたです。

トワの本当の声、アナタは聞き取れないですし。

でもアナタはわかつてくれた。精一杯優しくしてくれた。嬉しかつた……。
アナタと一緒にいられなくなつた後も。

その日の記憶だけで、トワはどんなことも頑張れる。

いつか絶対素敵な女性になつて、アナタを迎えて行つて。

絶対、もう一度アナタと仲良くなるんだつて思えました。

【声が真面目なトーンになりかけてしまつたので、明るく戻す】

だからねつ♥ 最初に優しくしてくれたのは♥ アナタなんですね♥

トワみたいな訳わかんない宇宙生物助けて。

保護してくれて！

いっぱい大事してくれた。

だからトワ♥ アナタのこと、こんなに大好きになつちやつた。

だからこれからずーっと♥

アナタの嬉しいことはなんでもしてあげたいつて、思つてるだけなんですね♥

【あ、これを言つておかないと】と思つ出す】

あでもお。気にしないで下さいね♥ ※1個目のセリフを採用

昔のこと。なんとなーく思い出せた今だつて。

そんなのあつたつけえ？ つて。

ピンとこないの、当然です！

ていうか。こっちから記憶を消しておいて、後から思い出してくれーなんて。

そんな都合のいいこと。言つたりしませんし♥

【声が少し真面目なトーンになる】

でもね。昔そういうことがあつて。トワは本当に幸せだつたつてこと。

【明るく戻る】

それは知つておいてほしいなつて♥ くふふ♥

【声が少し真面目になる】

どうです？

今トワは、アナタの伴侶にふさわしい人になれますか？』

〈主人公〉

「もちろんだよ。トワちゃんは最高のお嫁さん！

トワちゃんと一緒にいられて、わたし、毎日が夢みたいに幸せなの」

【明るくふざけて】

やつたあ♥ 嬉しいですう♥

【しばらく間を空けて。優しく。主人公が眠そうなので】
おやすみなさい……』

トワ、主人公とセックストしていると、とても嬉しいが、本当は人間でない自分が主人公をちゃんと喜ばせているのかと不安になり、胸が切なくなることがある。
だから、油断するといい真面目になつてしまふが、それは自分には似合わないトーンだな、
と感じる。

明るい声で主人公に甘える。

【明るくふざけて】

起きたらあ。また♥ えっちしましようね♥』